

毎日 2016.6.11

1日(土)

神奈川

26

## 「原因究明」市長に要望

5団体ノスリ営巣放棄で

秦野

秦野市渋沢の八国見山南面に建設が進む大規模霊園の工事区域で、県レッドデータリストで絶滅危惧種に指定の猛きん類タカ科「ノスリ」が今春の営

巣を放棄した問題で、開発に反対する「渋沢丘陵を考える会」など市内の自然環境保護グループ5団体は10日、原因究明と保護対策の見直しを求める要望書

を古谷義幸市長に提出した。

ノスリの営巣放棄が明らかになったのは今年3月だった。営巣放棄の実態について具体的な状況報告がなされていないため、自然保護グループは事業者や行政の対応を疑問視。営巣放棄は工事計画と

環境保全対策の破綻によるものだと指摘し、原因究明と保全対策の見直しを求めた。

黒岩祐治知事にも、原因究明と、事業者の公益財団法人「相模メモリアルパーク」（愛川町）への指導を求める要望書を近く郵送する。【高橋和夫】